

 評価のポイント

CL- I .ニーズを捉える力(精神科)

[15-1] 気分障害の事例

① Aさんの強みについて、できるだけたくさん上げてみましょう

出題意図は、問題や病的な側面だけでなく、健康的な側面について目を向けることです。想像でも、小さなことでも、ブレインストーミングすること、多くの側面から挙げられることで、日頃の患者さんの見方にも影響すると思います。正解があるわけではないので、楽しんでたくさん出していただきたいです。

② Aさんの散歩の時の発言にどのように受け答えますか？考えてみましょう

Aさんが看護師に語ったことについて、実際にどう受け答えするか、グループであれば、交代でロールプレイをしてみるのも良いと思います。看護の原則の、1 治療的な関係の構築 を意識して関われているか、患者さんの状態を踏まえて、根掘り葉掘りではなく、気持ちに共感できているか、あたたかな関心を向けているかがポイントになると思います。個人で課題を行うのであれば、何を注意してどんな態度で会話をするかについて考え、上記のポイントを踏まえているかを評価の視点として頂けたらと思います。

③ Aさんの具体的なケアプランを考えてみましょう

Aさんの実際のケアプランを OP, TP, EP からできるだけ具体的な行動として導き出してみることができると、復習と実践での思考につながると思います。回復傾向にあるAさんをイメージして、具体的な行動の原則を確認しながら導き出すことが重要ですので、原則から大きく外れていなければ、間違いということではなくて良いと思います。グループであれば、ブレインストーミングのようにたくさん上げて、原則から検討するよう話し合いができると良いです。個人であれば、導き出したプランの根拠を原則から述べられたら良いと思います。まだ不安定であることを踏まえながら、今後の生活へ向けていく方向があるとより良いと思います。